

米軍への「思いやり予算」を大震災被災者に回せ

普天間基地の無条件返還

高江ヘリパッド・辺野古新基地建設反対



ヤンバルの森を守ろう！
米軍ヘリパッド建設によって
この世界的自然遺産が破壊
の危機に瀕しています。

S-Hoshino.com

大地震・津波発生から2か月以上経過してもいまなお 10万人余が避難所でプライバシーのない不便な生活を強いられている日本。
450万円の仮設住宅を4万4千戸建設することができる2000億円を
向う5年間毎年「思いやり予算」として米軍に支払う日本。
福島原発事故は収束のめどが立たず、福島は「復興」ではなく「進行中」といわれる日本。
「原子力の代わりは『停電』だ」(原子力安全・保安院の西山審議官)と、
原発から自然エネルギーへの転換を口にしよとしない日本。
そんな日本に海を越えて無私で支援に駆けつけてくれた世界の人たち。
日本の原発重視のエネルギー政策・安全保障体制を変えようと決意することこそ、この国際的支援に報いることではないでしょうか。



宮城県気仙沼市

6.23 大阪集会 被災者支援 沖縄連帯・安保廃棄

原発から撤退し自然エネルギーの社会へ

■日時 6月23日(木) 6時30分開会
■場所 扇町公園 集会後、7:30 から2コースでデモを行います。(雨天決行)

集会次第

- 沖縄からの報告 ● 被災地からの報告
- 集会宣言 ● うたごえなど

1960年6月23日に全国民的な反対運動を押し切って発効した新安保条約。この条約は、半世紀を経ても、見直されることなく軍事同盟として強化され続けてきました。日米両政府は、外務・防衛担当閣僚による日米安全保障協議委員会(2プラス2)を7月の日米首脳会談前の6月下旬にワシントンで開き、辺野古新基地建設などをすすめる「日米合意」の推進に向けた協議を行う予定です。

いまや、世界の平和の流れは、明らかに、基地撤去、軍事同盟解消の方向です。「2プラス2」と重なる6.23集会に多くの人々が参加し、大阪からも「米国の核の傘と原発からの撤退を！」という力強い発信を世界の平和の潮流に届けましょう。

Hand in hand with people who are troubled with U.S. bases in Okinawa and victims of the March 11 earthquake, tsunami and the accident at the Fukushima Daiichi nuclear power plant!

主催：安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会 TEL 06-6763-3833